

赤坂、青山地区はこんな地域です

平成17年10月1日現在、赤坂、青山地区の昼と夜の人口の差は約5.5倍。赤坂、青山地区の夜間人口は30,500人、昼間人口は166,378人。昼間の災害では自宅に帰れない人が約95,000人もであることが予想されます。高齢者や身体に障害のある人などが約8,000人。10人のうち4人は助けを必要としています。自分がケガをせず、お互いに助け合い、協力しましょう。外国人も3,500人以上が住んでいます。言葉や習慣の違いで混乱が予想されます。困っていたら助けを！

まず避難場所を確認しておきましょう

避難所は、災害の大きさ、種類、状況によって次のような5つに分かれています。

まずどこに避難すればよいか要チェック！一番大事なことです。

一時(いっとき) 集合場所
隣近所の安否の確認や応急手当を行ったり、広域避難場所へ避難するために一時的に集まる場所。町会や自治会の単位で決められています。忘れずに確認しておきましょう。

広域避難場所
震災時、火災の延焼の危険から避難する場所。

地区内残留地区
震災時に火災の延焼の危険性が少なく、広域避難場所へ避難する必要がない地区。

避難所
災害による家屋の倒壊・焼失などで被害を受けた人の、一時的な生活の場所。

二次避難所
避難所での生活が困難で、介護などのサービスが必要とする高齢者や障害者の人の一時的な生活の場所。

広域避難場所および地区内残留地区一覧

利用する町丁目	名称
元赤坂1、2丁目の人	迎賓館一帯
北青山1~3丁目の人	明治神宮外苑地区
南青山1~7丁目の人	青山墓地一帯
赤坂1~9丁目の人	地区内残留地区



避難所一覧

施設名	場所	お問い合わせ
01 赤坂小学校	赤坂 8-13-29	03-3404-8602
02 青山小学校	南青山 2-21-2	03-3403-5588
03 青南小学校	南青山 4-21-15	03-3404-8608
04 赤坂中学校	赤坂 9-2-3	03-3402-9306
05 青山中学校	北青山 1-1-9	03-3404-7522
06 旧赤坂小学校	赤坂 4-1-26	
07 赤坂区民センター	赤坂 4-18-13	03-5413-2711
08 サン・サン赤坂	赤坂 6-6-14	03-5561-7833

二次避難所一覧

施設名	場所	お問い合わせ
09 赤坂福祉会館	赤坂 6-4-8	03-3583-1207
10 青山福祉会館	南青山 2-16-5	03-3403-2011
11 青南福祉会館	南青山 4-10-1	03-3423-4920

私たちの街で

起きたら…

暴風雨や大雨にも要注意

大雨の時は低地やビルの地階など浸水が予想されます。浸水は自主的に予防しましょう。土のうを無料で提供しています。下記設置場所から、ご自由にお持ちください。

■場所 / 氷川公園 赤坂 6-5-4
 青山公園 南青山 2-21-12
 北青山1丁目児童遊園 北青山 1-6-6

災害時要援護者登録事業
 災害が起こったときに自分で避難することや身を守ることが難しい人(災害時要援護者)を対象に、地域の助け合いによる避難などに活用する災害時要援護者登録名簿を作成し、消防署、警察署、民生委員・児童委員、名簿の受け取りが可能な町会・自治会に提供しています。

お問い合わせ / 地区活動推進課 活動推進係 電話 / 03-5413-7272
 防災課防災係 電話 / (代表) 03-3578-2111 (内線) 2545・2517
 高齢者支援課高齢者福祉係 電話 / (代表) 03-3578-2111 (内線) 2391 ~ 2395

水は命 飲料水の確保は大丈夫?

平成19年4月1日現在、飲料用、消火用の受水槽は地区内に10カ所。ほかに消火用水槽が7カ所あります。近隣の事業所と区との協定により、飲料水を提供してくれる事業所が46カ所、非常用の井戸の使用が可能な事業所が2カ所あります。

また、近年の優れた技術による濾過器はプールや海水も飲料水に変えてくれます。このような濾水器は10台備蓄されています。

地震が起きた時の心得

- グラツキたら身の安全
- 落ち着いて火の元確認 初期消火
- あわてた行動ケガのもと
- 窓や戸をあげ出口を確保
- 落下物 あわてて外に飛び出さない
- 門や塀に近寄らない
- 確かめ合おうが家の安全、隣の安否
- 協力し合って救出救援
- 避難の前に安全確認、電気ガス

災害はみんなに同時にやってくる

災害発生時すくには、誰もあなたを助けには来てくれません。自分のことは自分を守る、これが原則です。いざという時のために、備えをしておきましょう。

こんなことに注意しよう

- 家具の転倒を防止する。
 - 寝室に家具をおかない。
 - 逃げ場、避難経路の確保をしておく。
 - 家族で安否確認の連絡方法を周知。
- ※学区では家具転倒防止器具等を無償で支給しています。
- お問い合わせ / 防災課防災係 電話 / (代表) 03-3578-2111 (内線) 2519

非常持出品

- 避難する時に最初に持ち出すべきもの
- | | |
|--|---|
| 貴重品
現金、預貯金通帳、印鑑、免許証、権利証、健康保険証 | 非常食品
乾パン、缶詰、栄養補助食品など調理をせずにそのまま食べられるもの。ミネラルウォーター、紙コップなどの食器、箸、缶切り、栓抜き、高齢者・乳幼児用食品など。 |
| 応急医薬品
ばんそうこう、塗り薬、包帯など。持病のある人は常備薬も忘れずに。 | 懐中電灯
一人に一つ。予備電池も忘れずに。 |
| その他の生活用品
着替え、軍手、タオル、ティッシュ、雨具、ビニール袋、生理用品、オムツなど。 | 携帯ラジオ
電池は多めに用意。 |

非常備蓄品

- 復旧までの数日間自足できるように準備しておくもの
- | | |
|---|--|
| 飲料水
一人一日3リットルを目安にペットボトルのミネラルウォーターを用意。 | 燃料
卓上コンロ、携帯コンロ、固形燃料、ガスボンベをストックしておきましょう。 |
| 非常食品
乾パン、缶詰、レトルト食品、インスタント食品、チョコレート、あめなどのお菓子類。 | その他の生活用品
生活用水(お風呂や洗濯機に用意)、ローソク、毛布、ホリ容器、洗面用具、新聞紙、ビニールシート、工具類など。 |

心強い 備蓄品たち

赤坂・青山地区の備蓄倉庫は17カ所。食糧の備蓄は2日分。備蓄倉庫は各避難所単位、地区単位に設置されています。そのなかには、食糧、生活必需品、炊き出し用具、応急資器材などが備蓄されています。

- (下記数字は平成20年5月現在)
- 食糧の種類**
乾パン6,250食、アルファ米60,500食、ミルク、おかゆなど
 - 応急資器材**
救出資器材セット、救急セット、医療セット、衛生材料セットなど
 - 生活必需品**
濾水機10器、テント、ブルーシート520枚、生活用品、育児用品、簡易トイレ等88個(トイレ設置可能なマンホールは3基)、毛布11,841枚、寝袋、投光器70機など
※生活用品:炊飯器、茶碗、箸、紙コップ、皿、カセットコンロ、やかん、包丁、生理用品、肌着、大人用オムツなど
※育児用品:哺乳瓶、オムツなど

